

山岳救助隊ニュース

令和4年第5号

発行:令和4年7月8日
埼玉県警察本部 地域部地域総務課

山岳遭難発生状況 35件38人 (前年同月比+1件、+1人)
死亡4人、負傷者20人 ※令和4年6月末現在

「埼玉県警察」×「日本山岳ガイド協会」

令和3年は県内における山岳遭難件数が過去最多の82件となり、遭難者の登山届提出件数は16件と全体の約20パーセントと低い提出状況でした。

県警では、登山届の提出促進と捜索救助活動時の迅速化を図るため、登山届受理システム「コンパス」を運用する公益社団法人日本山岳ガイド協会との協定を締結しました。

「コンパス」に提出された登山届は県警にも共有され、遭難者の登山ルートなどの情報を速やかに照会・把握できるため、より迅速な救助活動を展開することが可能となります。

今後も、県警ホームページからの電子申請、登山ポストへの投函、警察窓口への郵送などでも登山届の受理は致しますが、ぜひ、「コンパス」も活用してください。

詳しくは、裏面の二次元コードからご確認下さい。



山岳遭難多発

先月(令和4年6月)だけで山岳遭難が12件発生し、令和4年の月平均は5.8件です。

足がつるなどの疲労による遭難もありますので、登山計画を立てるときは、自分の体力だけでなく、気温の上昇なども考慮する必要があります。

同じ登山行程でも、気温が高ければ、体力の消耗も激しくなり、滑落・転倒に発展する可能性も高くなります。

特に今年は、猛暑と予想されていますので、「水分・塩分を多く準備する」などの対策をとりましょう。

和名倉沢

「溪流釣り」の遭難も発生しています。



熱中症の応急措置

梅雨も明け、本格的な夏山シーズンとなりました！ここで気を付けたいのが**熱中症**です。

- 熱中症は高温下の環境で体内の水分や塩分のバランスに崩れが生じ、体温調節機能が働かなくなり発症する様々な障害の総称です。症状については、足がつる・立ち眩みのほか、**意識障害など重症化するケースもあります**。
- 応急措置として、直射日光が当たらない風通しの良い涼しい場所へ移動して、**とにかく体を冷やし**、着衣は緩め足を少し高くして安静にしましょう。

水分は自分で飲める場合はできるだけ経口補水液やスポーツドリンク等の塩分の入った水分を補給。※無理に飲ませると誤嚥のおそれがあるため、本人に飲ませる。そして**早めの救助要請をしましょう！**

○山岳遭難情報はコチラ！

情報発信

Twitter（ツイッター）で**山岳遭難情報や登山する注意事項などを随時発信していますので、**参考にしてください。

アカウント：埼玉県警察本部地域部地域総務課
@spp_chisouka



○登山届はコチラ！



山と自然ネットワークコンパス
Compass

<https://www.mt-compass.com/howto.php>

全国山域の**登山届**がひとつの窓口で提出できます。



登山届（電子申請）

登山届の提出は安全登山の第一歩です。
自分の技量や装備に見合った登山計画を立て、
必ず、**家族や身近な人に行き先等を伝えておきましょう。**

